(様式第3号)

## 企業・団体名(

### 文吾林造園株式会社

# SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30様式改定】

+									<b>上なSD</b>	Gs (1	7ゴー	-ルと16	9ター	ゲット)	関連	項目		
カテゴ	チェック項目	取組	『非該当』	『予定』の	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1	2	3	4 5	6	7	8 9	10	11 12	13	14	15 1	6 17
ゴリ	<b>/エノ/</b> 残日	レベル	の場合 選択入力	選択入力	(果などの教育感証があれば、)すせて記載/ (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	100 MHM	**************************************	-W+	<b>1</b>	\$ taure.	7 :::::::::::::::::::::::::::::::::::::	<b>a</b>	10 x050*** • 😩 >	v¶Ψ ∞	13 111111.	M ##**** 15	16 th	17 max
	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進、昇給、福利厚生などあらゆる雇用 条件で、差別しない体制を構築、運用している。				5.7 5.2 5.8	2		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3				16	6.1 6.2 6.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記し、従業員に周知している。				5.1 5.2 5.8	2		8.5 8.8					10	6.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・過重労働となるような長時間労働にならないように配慮する旨を就業規則に明記している。							8.5 8.8						
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・特定技能1号外国人・外国人技能実習生を受け入れており、差別・人権侵害がないよう経営陣・役員等が 積極的に関与し順調に技能実習を続けることが出来ている。				4.4			8.7 8.8	10.2 10.3					
人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・朝礼での安全確認、現場の安全パロールを実施している。 いる。 ・より高い安全管理のための装備の充実を行っている。			3				8						
· 労 働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・会社側と個人の密接なコミュニケーションが図れるよう工夫し、年数回経営トップとの面談を行っている。 ・各個人に合わせた働き方を認めている。			3										
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本			・女性、外国人、障がい者、高齢者に合わせた雇用を 工夫している。				5.° 5.8			8.5	10.2 10.3					
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・業界団体及び行政等による研修受講を奨励している。 ・業務上有用な資格の取得督励を行っている。				4 5.5	5		8 9						
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本		【予定】	・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行う				5.5	5		8.5	10.2 10.3					
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレン ジ			・毎年健康診断を行い、必要な場合は再検査の受診をすすめている。			3				8						
	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・産業廃棄物に関して、マニフェストによる厳格な管理 を行っている。									11.6 12		14.1		
環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本		【予定】	・省エネ診断を行う。また、その結果を踏まえた省エネ計画を策定する。						7.3				13			
境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・太陽光パネルにて太陽光発電を行っている。 ・社内照明のLED化を順次行っており、排出削減に努めている。						7.2 7.3			12.4	13.3			
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本			・農薬等を薬剤を使用する場合において、使用回数使用量の台帳への記入等コンプライアンスに違反せぬよう厳格に管理している。			3.9		6.3				11.6 12.4				

	カ			【非該当】	【予定】の	具体的な取組						-ルと16							]
	テゴ	チェック項目	取組 レベル	の場合	場合	(県などの取得認証があれば、併せて記載)						8 9							
	ij		レヘル	選択入力	選択入力	A Published Street and Device to the Australia Street and Street a	titis 2 iii	\$ 127.02. -W.	4 1112	5 mg = 6 mg	7 111111	8 mm 9 mm	19 totto	A 1400 CO	©	14:11:11	15 ti:r··· 1 <u>◆</u> ≤	¥ 8	
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境に配慮した資材の使用やの成果品の提供を通じて生物多様性保全に配慮している				6	6						15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・剪定枝をチップ化し資材として再利用している。 ・裏紙の利用で紙の無駄使いをなくしている。 ・廃棄物のリサイクルに努めている。								13	3	14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			・可能な限り井水を使用し、水資源の無駄をなくしている。				6									
18	環 境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ					3.9			i 7			12	13.3	3 14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレン ジ			・自社HPや社長による新聞連載記事において、環境保全への取り組みを発信している。								12.	6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ			・太陽光パネルにて太陽光発電を行っている。 ・廃棄された木材を一部希望者に無料提供しており、 また薪を作り販売するなど再利用している。					7.2				13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレン ジ			・アスコン・砕石・コンクリート2次製品などリサイクル材を 使用した材料の優先使用をしている。								12.	2 13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職・贈収賄の禁止について 社員に周知徹底している。												16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・不正競争行為に関与しないよう 社員に周知徹底している。												16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【非該当】		当社は知的財産を取得していない						8.2 8.3 9							
25	公正な事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・個人情報の取り扱いについて就業規則に明記し、従業員に周知している。												16	
26	未 慣 行	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ															16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレン ジ							5		8	10	12	! 13	14	15	16 17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。		3				8 9	10					17	

			取組	【非該当】 の場合	【予定】の	具体的な取組 1	2	2		SDGs 5		ールと						15 1	16   17
		チェック項目	レベル	の場合 選択入力	場合 選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	2 ***			5 g* 6			9 1						₩
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・製品・サービスの安全性には協力会社とも連携し常に気を配るよう朝礼、終礼等で周知している。		3.9		•				100	12.4				
30	製品・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組 みを構築している							9						
31	ビス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・造園業という業種自体が、緑化等の環境と密接に関わっている業種であり、常に環境に配慮した製品、サービスの提供に努力している。					6				12	13	14	15	
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・公共工事においては、街路樹の診断を提案するな ど、社会課題へ取り組んでいる。	2	3	4	5	6 7	8	9 1	0 11	1 12	13	14	15 1	16 17
33		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・地元中学生対象の職場体験の受け入れをしている。 ・ボランティア活動として地域の名所となる樹木の管理 やドローン撮影等を行っている。			4				9	11	1 12		14	15	17
	地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・NPO法人と連携し、自然環境再生技術の普及、教育活動や園芸福祉教育を行っている。			4					11	1		14	15	17
35	-	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			・基本的に県内産材の使用を優先している。						8	9	11	1 12	13			
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・品質方針を掲示し、常に社内共有している。						8	9						17
37		<ul><li>【法令遵守】</li><li>・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している</li></ul>	基本			・入社時や朝礼等で定期的に法令順守の重要性を全 社員に向けて発信している。												1	16
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整 備している	基本			・社長、部長が中心となり、NPO法人との連携も含め、 取り組んでいる。												1	16
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			・地域コミュニティーの会議への参加や、地方整備局や近隣市町村と災害協定を結ぶことなどを通して、地域と長年にわたる信頼関係を構築している。												1	16 17
40	体 制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・施工計画の立案時だけだなく、朝礼や各現場でのKY時において、より安全な施工方法を模索するプロセスがあり、取り組んでいる。												1	16
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる。	チャレンジ															1	16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ										9	11	1	13 13.1		1	16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			・次期経営トップの育成を行っている。						8	9						17

#### 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12 1	3 14	15	16	17

### 【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登 |録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくり エクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制 |度、森林002吸収評価認証制度、長野県県産材002固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<u>赤字</u>で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定